

第3回ユースオリンピックで金メダルを獲得！

アニカ・サーレ選手（和道流ノルウェー女子）



アニカ選手は、本年8月26日に東京武道館にて行われた第54回和道流空手道連盟全国大会、高校生女子の部にて優勝を果たした後、10月17日～18日に開催された「第3回ユースオリンピック競技大会（2018・アルゼンチン・ブエノスアイレス）」にて女子組手+59kgで金メダルを獲得いたしました。

この大会は4年に一度開催され、15歳から18歳までのアスリートを対象とした国際総合競技大会で、今年は10月6日～18日の13日間にかけて32競技241種目が実施されました。空手競技は、今大会でユースオリンピックに初採用され、組手の6種目で33の国と地域から計48選手が出場しました。

アニカ選手は決勝戦で日本の澤島さくら選手と対戦し、3つの「有効」ポイントを重ね3-0で優勝しました。

和道流ノルウェー連盟の優勝インタビューに対し「今回の優勝は自分の人生にとって、非常に大事な優勝です。大会直前にガンと診断された弟のために優勝したかった。今回の優勝は言葉で表しきれない、素晴らしい感覚です」と感慨深く心情を語りました。

2020年の東京オリンピックには、ノルウェー代表選手として出場することになるかも知れません。その際には和道流空手道連盟として応援をしたいと思いますので、Annika Saelid (アニカ・サーレ) 選手の動向を見守って行きます。

※ 写真は、第54回和道流空手道連盟全国大会におけるアニカ選手です。

